

この質疑応答録は、2020年5月19日(火)に開催したアナリスト、ファンスマネージャー向け決算説明会電話会議にて、ご参加の皆様からいただいた質問とその回答の概要です。

### ■インダストリアル機器部門について

#### 質問 1

コンクリート構造物向け工具の第4四半期と通期の売上実績を教えて下さい。

#### 回答 1

コンクリート構造物向け工具の第4四半期の売上実績は37億円。国内9億円、海外が28億円となります。通期の実績は153億円。国内41億円、海外111億円となります。

第4四半期の数量ベースは、国内の機械が15%減、消耗品15%増。海外は、機械が27%増、消耗品は35%増です。国内海外合計で、機械は15%増、消耗品は30%増となりました。

#### 質問 2

第4四半期における、コンクリート構造物向け工具の国内、海外別の事業環境、取り組み内容について教えてください。

#### 回答 2

国内は、技能労働者である鉄筋工(建築)の需給が緩んでいたこと、新型コロナウイルスの影響による現場停止などの外部要因により、機械は買い控えの傾向がありましたが、消耗品は増加傾向です。

海外の地域別状況は、北米はコンクリート系ディーラーの構築を進めました。欧州はドイツ・フランスなどにおいて、北米同様販売ルート構築を進めた結果、新規発注につなげることができました。

#### 質問 3

海外における土木市場の進捗状況を教えてください。

#### 回答 3

土木市場の売り上げは着実に進捗しています。

#### 質問 4

海外市場における「ツインタイア」の新型コロナウイルスの影響を教えてください。

#### 回答 4

2020年3月までは欧米とともに通常の営業を続けることができましたが、4月以降、外出禁止令などもあり、営業活動が停止しました。そのため、機械の売り上げは鈍化しておりますが、今までの機械の浸透もあり、消耗品の受注は堅調な状況です。

## 質問 5

国内における土木市場への「ツインタイア」の活動状況を教えてください。

## 回答 5

新幹線や高速道路の工事現場などに導入されていますが、大口径モデル(RB-610T)の伸びが想定よりも低く、普及はこれからと考えています。今後の販売促進活動により、拡大が期待される市場です。

## 質問 6

第4四半期の販管費の増加について、インダストリアル機器部門のどのような費用が増加したのでしょうか。

## 回答 6

鉄筋結束機事業の拡大につながる成長投資、将来的に応用が見込まれる技術関連に5億円の投資を行いました。これは一過性の費用です。

### ■オフィス機器部門について

## 質問 7

オートステープラーについて、新型コロナウイルスにより出荷先工場の操業停止などがあり、販売に影響があったと思います。状況を教えてください。

## 回答 7

現在、当社の中国（深圳）の工場は順調に稼働しておりますが、受注に関してはお客様によって様々であり、全体的には低下傾向です。売上に一番大きく影響があったのは、お客様の工場が停止した第4四半期と考えています。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が5月19日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。